

薄型テレビ汎用壁掛け金具

# TV セッタースリム1

## 設置マニュアル

この度は、お買い上げいただき誠にありがとうございます。

当商品は、D I Y (日曜大工) が得意な方でしたら、慎重に作業すれば設置可能です。しかし、組立・取り付けの不備による事故について保証はございませんので、作業に際しましては十分にご注意くださいますようお願い申し上げます。  
基本的には、お近くの内装業者・電設業者へ依頼をされる事をお勧めします。



**組立不良・取り付け不良、および天災等による事故・損害については、一切の保証はございませんので、ご了承ください。**

- ・安全性を十分に考慮し、設置中に怪我や部屋にキズを付ける事の無いよう注意下さい。
- ・設置にあたっては、十分な作業スペースを確保してください。
- ・取り付け工事は2名以上で行うことを強く推奨いたします。
- ・テレビの壁掛け以外のご使用、部品の改造等はしないでください。
- ・設置中に少しでも不安を感じた場合は、作業を中断し、お近くの内装業者・電設業者にご相談ください。

### ●設置前にテレビと金具の適合を必ずご確認ください。

#### 取り付け前提条件

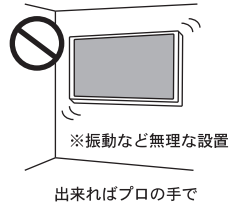
テレビ背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、  
テレビ背面がフラットである事

その他、テレビ背面对応ネジ穴幅、テレビ耐荷重、対応インチ等  
お買い上げ時に確認した事を、再度ご確認ください。

## 設置にあたって：必ずお読みください

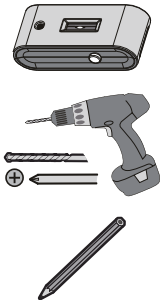


- 必ず耐荷重強度のある壁や間柱（スタッド）にしっかりと設置してください。無理な設置はテレビの落下、大怪我に繋がります。
- ネジ類は所定の場所に正確に取り付けてください。
- コンクリートやレンガ壁に設置する場合、専門業者に依頼するようにしてください。
- 電源コードや配線にキズを付ける事の無いようにご注意ください。火災などの原因になります。
- 設置の際は、テレビや周辺機器の電源をコンセントから抜くようにしてください。
- 以下の場所には設置をしないでください。
  - ・振動があるような不安定な場所
  - ・人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
  - ・湿度や温度の高い場所
  - ・テレビの通気が悪い場所（エアコンの側、天井のすぐ側等）
  - ・開閉するドアの側
  - ・その他、テレビ設置に不適格だと思われる場所



## 設置にあると便利な道具

- 1) 間柱センサー  
壁裏にある間柱を見つけるのに便利です。  
細い針（検知針）やキリを壁に刺して代用する事も可能です。
- 2) ドライバー  
長いロングタイプがあるとセーフティボルトを締めるのに便利です。
- 3) ドリルドライバー  
電動ドライバーです。壁のネジ穴の下穴を開けるのにも使えます。
- 4) ペン  
壁にネジを打ち込む位置をマーキングします。
- 5) メジャー  
床からの距離を測ったり、金具の水平を取る時などに使用場合があります。
- 6) 柔らかい布  
設置の過程で、床などにテレビを置く事になります。下に敷いてテレビを保護します。
- 7) 軍手  
手を保護します。テレビを持つ時は滑らないように素手が良いかもしれませんが。



## さあ、設置・・・の前に

- 設置前にテレビと金具の適合を必ずご確認ください。

### 取り付け前提条件

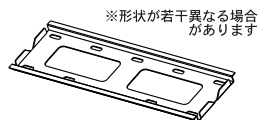
テレビ背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、  
テレビ背面がフラットである事

その他、テレビ背面对応ネジ穴幅、テレビ耐荷重、対応インチ等  
お買い上げ時に確認した事を、再度ご確認ください。

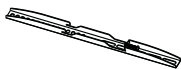
- 設置に必要なネジ類は付属しています。しかし壁の状態によっては若干細く短いネジがあると作業がし易い場合があります。その時はホームセンター等でご用意下さい。

## 付属部品リスト一覧

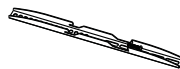
以下の部品が全て揃っているかをご確認ください。もし足りない部品がある場合、ご購入店にご連絡ください。ボルトやロックワッシャーについては、テレビのネジ穴の大きさや長さによって最適な物を選んで使用して下さい。



a 壁面プレート×1



b 左テレビブラケット×1



c 右テレビブラケット×1



d M4 - 12ボルト×4



e M5 - 12ボルト×4



f M6 - 12ボルト×4



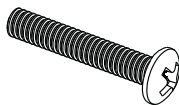
g M8 - 16ボルト×4



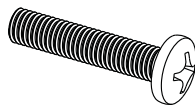
h M4 - 30ボルト×4



i M5 - 30ボルト×4



j M6 - 35ボルト×4



k M8 - 40ボルト×4



l M4ロックワッシャー×4



m M5ロックワッシャー×4



n M6ロックワッシャー×4



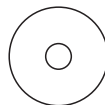
o M8ロックワッシャー×4



p M4/M5スペーサー×4



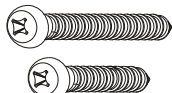
q M6/M8スペーサー×4



r M4/M5ワッシャー×4



s M6/M8ワッシャー×4



t 壁面ボルト長×6  
壁面ボルト短×6



u 壁面ボルトワッシャー×6

## ステップ 1-1

## テレビブラケットのテレビへの取り付け

※テレビの背面に凹凸がある場合、下段にお進みください

左右のテレビブラケットをテレビの背面に取り付けます。取り付ける際に左右上下の確認をしてください。M4、M5、M6、M8 のサイズのネジ穴のテレビに合うよう、それぞれ2種類の長さのボルトが付属しています。お手元のテレビに合わない場合、ご面倒ですが別途ご用意ください。ワッシャー、ロックワッシャーを使用して固定します。テレビブラケットのネジ穴は複数開いています。ブラケットが最もテレビの中央にくるネジ穴を選ぶと良いでしょう。

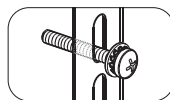
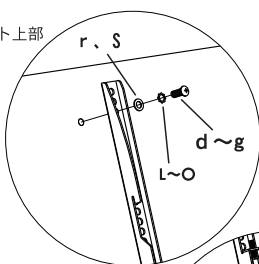
※テレビブラケット上部



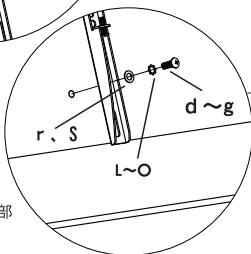
**ご注意**

壁にネジ穴を開ける前に必ずテレビとテレビブラケットの適合確認・組立を行ってください。

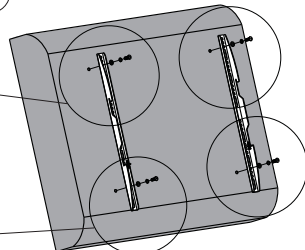
万一、テレビとテレビブラケットがどうしても取り付けできない場合、テレビの壁掛けが出来ません。



※ブラケットのネジ穴が「円形」で開いている方が金具の上部になり、「長方形」で開いている方が金具の下部になります。



※テレビ  
ブラケット下部



※テレビ背面  
上下に注意しましょう

## ステップ 1-2

## テレビの背面に凹凸や段差がある場合

テレビの背面に凹凸があったり、曲面になっている場合、付属のスペーサー（黒いチューブ）を間に入れて設置します。取り付ける際に左右上下の確認をしてください。

M4、M5、M6、M8 のサイズのネジ穴のテレビに合うよう、それぞれ2種類の長さのボルトが付属しています。お手元のテレビに合わない場合、ご面倒ですが別途ご用意ください。ワッシャー、ロックワッシャーを使用して固定します。テレビブラケットのネジ穴は複数開いています。ブラケットが最もテレビの中央にくるネジ穴を選ぶと良いでしょう。

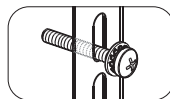
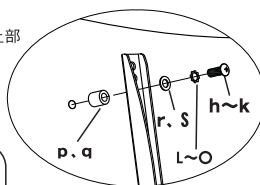
※テレビブラケット上部

p, q

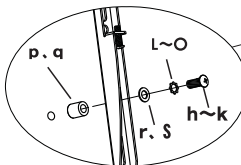


### ●スペーサー

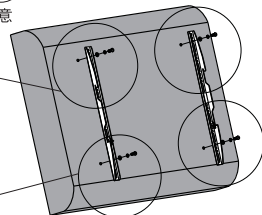
黒いプラスチックのチューブです。これを金具とテレビの間に入れる事で、テレビ背面の凹凸や曲面に対応します。



※ブラケットのネジ穴が「円形」で開いている方が金具の上部になり、「長方形」で開いている方が金具の下部になります。



※テレビブラケット下部



※テレビ背面  
上下に注意しましょう

## ステップ2

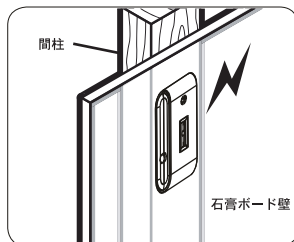
## 壁面への金具の取り付け



テレビ壁掛けの最重要ステップです。  
取り付けは、慎重・確実に作業するようにしてください。  
壁面への取付不備による事故・損害については、一切の保証がありません。少しでも不安に感じたら、お近くの内装業者・電設業者に相談してください。

### ●壁の構造について（必ず耐荷重のある壁への設置を！）

設置は「補強度のある壁」か、もしくは壁裏の間柱（スタッド）に行います。  
補強壁を使用する場合は、厚さ2センチ程度が良いでしょう。  
石膏ボード壁の場合、壁裏の間柱を見つける必要があります。ホームセンター等で売っている壁裏センサー（1500円程度）やキリを更に細くした検知針が便利です。石膏ボード部のみへのネジ打ち設置は絶対にやめてください。



●一般的な石膏ボード壁の場合  
壁裏センサーを使用して間柱を見つける。  
キリ等を使う場合、何度か刺して柱の中央を見つけましょう。

### ●間柱を見つけたら

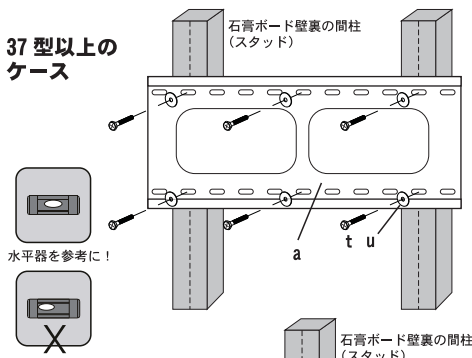
間柱を発見した場合、間柱の「中央」にネジを打つ必要があります。間柱の端にネジを打つと強度が不十分だったり、間柱が割れてしまう事もあるので注意しましょう。詳しくは、センサーや検知針の説明書をご覧ください。

### ●コンクリートやレンガ壁について

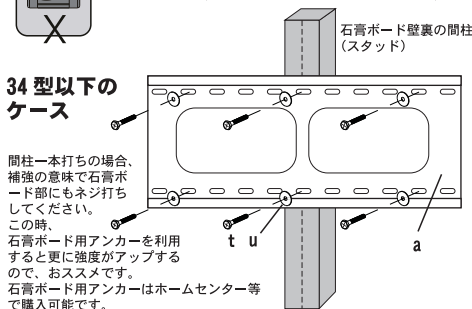
コンクリートやレンガ壁への設置は、難易度が高い施工になります。お近くの内装業者等の専門業者に依頼してください。個人での設置は行わないようにしてください。



### 37型以上のケース



### 34型以下のケース

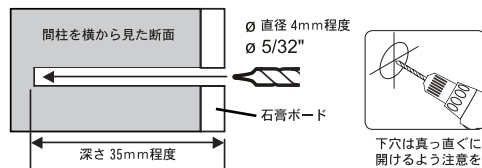


### 1) 設置位置の確定

現在の主流である石膏ボード壁の場合、上記を参考にして壁裏の間柱（スタッド）を見つけてください。間柱は一般的に40～45センチ幅で設置されている事が多いようです。ご確認ください。  
間柱が確定したら、ネジ穴にマーキングをします。

### 2) ネジ打ち用下穴の開口

壁を横から見た断面図（下）を参考にして、ネジ打ち用の下穴を開けます。電動ドリルがあると便利です。  
壁にキズをつけますので、慎重に作業を行ってください。



### 3) 金具の壁面への取り付け

左図を参考に壁面ボルトとワッシャー [t, u] を使用して壁面ベース金具 [a] を壁面にしっかりと打ち付けます。  
石膏ボード部に打つ補強ネジは、石膏ボード用アンカー（ホームセンター等で入手出来ます）を使用すると更に強度がアップします。



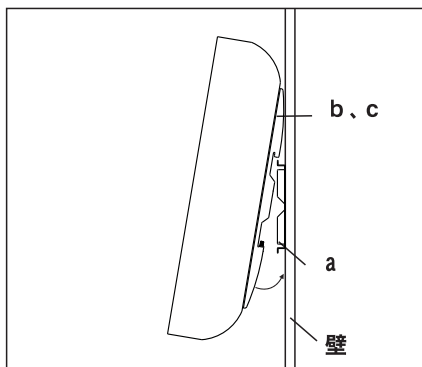
**最重要ポイント**  
ネジ打ち後、少しでも違和感を感じたら（ネジの空効き等）設置を中断し、専門業者に相談してください。

### ステップ3 テレビと壁面プレートの取り付け

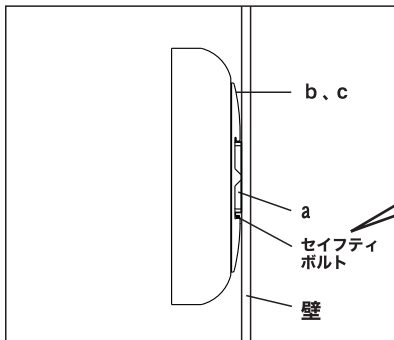


必ず二人での作業を！！

- 左右のテレビブラケット [b, c] の上部を壁面プレート [a] の上部に引っかけます。上部がしっかりと引っかかっている事を確実に確認してください。  
この作業の前に、必要な配線の取り付け処理を行っておくと良いでしょう。



- ゆっくりとテレビを壁側に沿わせます。この際、取り付け配線が折れ曲がったりしないように気を付けてください。
- 最後に下図を参考にセーフティボルトをしっかりと締めます。セーフティボルトを締めるにはロングドライバーがあると便利です。ホームセンターなどで売っています。



#### セーフティボルトについて

##### 耐震効果を高める設置

セーフティボルトをしっかりと締める事で耐震効果が大きく向上します。  
必ずキツめにガッチリと締めるようにしてください。  
又、定期的（半年程度）に緩みが無いかをご確認ください。

### ステップ4 設置の最終確認



最終的にしっかりと組立・取り付けが行われているか確認してください。  
少しでも不安点があった場合、お近くの内装業者・電設業者様にチェックの依頼をしてください。